

分野	基礎分野	授 業 概 要	【一般目標】
科目名	<b>1. 生物学</b>		生体の構造を知るために、細胞の構造、働きおよび生命現象に関する基本的知識を習得する。
単 位	2		【到達目標】
時 間 数	30		1. 生物の基礎的な仕組みを理解する。
授業回数	180分×10回		2. 歯科医学分野への基礎知識を習得する。
授業形態	講義		【授業計画】
開講年度	2023年度		第1回 生命とは・生命の誕生と変遷について
時 期	前期		第2回 細胞をつくる物質・生命の単位：細胞
担当講師 実務経験	秋月皆人 佐藤寛太 歯科医師としての実務経験あり		第3回 細胞のさまざまな活動・細胞の一生
成績評価	学科試験		第4回 ヒトの組織について・ヒトの器官
教科書 参考資料	生物学	第5回 生殖、減数分裂・遺伝と遺伝子	
		第6回 遺伝子を働かせる仕組み・発生の過程	
		第7回 発生の仕組み・刺激の受容と反応	
		第8回 神経系・ホルモンと働き	
		第9回 生体防御・動物の行動	
		第10回 ヒトの進化と未来・生物学のまとめ	

分野	基礎分野	授 業 概 要	【一般目標】
科目名	<b>2. 生命倫理・医の倫理</b>		歯科医療における倫理の重要性を理解し、歯科衛生士の責任と義務に関する基本的な知識や態度、考え方を学ぶと共に、歯科衛生士に求められる職業人としての心構えやインフォームドコンセントに基づいた患者対応、医療現場で必要となるコミュニケーション技術や行動科学について学習する。
単 位	1		【到達目標】
時 間 数	15		1. 医療倫理とは何かについて簡潔に述べるができる。
授業回数	180分×5回		2. 医療従事者の職業倫理に関する規範について概説できる。
授業形態	講義		3. インフォームドコンセントの倫理的意義について述べるができる。
開講年度	2023年度		4. 歯科医療のQOLの向上について説明できる。
時 期	後期		【授業計画】
担当講師 実務経験	中條信義 歯科医師・公認心理士としての実務経験あり		第1回 医療倫理とは
成績評価	レポート・ワーク・授業態度 出席状況		第2回 歯科衛生士としての心構え
教科書 参考資料	歯科医療倫理	第3回 医療倫理をめぐる今日的課題	
		第4回 インフォームドコンセントの定義と重要性	
		第5回 QOLの定義と、患者・家族のQOL向上のために	
		第6回 患者の行動特性と医療従事者の行動特性	
		第7回 チーム医療の意義と多職種との連携	
		第8回 医療現場におけるコミュニケーション	
		第9回 医療現場におけるコミュニケーション	
		第10回 患者・家族が望む医療のあり方	

分野	基礎分野	授 業 概 要	【一般目標】
科目名	3. 実践歯科英語		国際化社会に対応できる歯科衛生士になるために、臨床で使用する歯科用語や歯科表現を学び実践で役立つ英語を修得する。
単 位	1		【到達目標】
時間数	30		1. 専門的な英単語や略語の意味を理解できる。
授業回数	180分×10回		2. 専門的な英単語や略語の意味を理解できる。
授業形態	演習		3. 英語でコミュニケーションをとることができる。
開講年度	2023年度		【授業計画】
時 期	前期		第1回 受付・誘導時の英会話（治療前の受付での会話、動作の指示）
担当講師 実務経験	ポテズワ・ジェフリー・マーク 地域の英会話スクール、企業の英会話セミナー講師としての実務経験あり		第2回 患者への問診（既往歴・一般症状）
成績評価	レポート 歯科衛生過程演習評価		第3回 歯科保健指導の英会話・歯科用語（歯科疾患・歯科治療）
教科書 参考資料	歯科予防処置論・歯科保健指導論	第4回 歯科用語（歯周疾患・顎関節症の問診・X線撮影の検査）	
		第5回 歯科治療の説明（治療後の注意事項）・歯科治療後の英会話（受付で会話）	
		第6回 英会話の演習（治療前の受付での会話）	
		第7回 英会話の演習（患者誘導）	
		第8回 英会話の演習（患者とのコミュニケーション）	
		第9回 英会話の演習（治療後の注意事項）	
		第10回 英会話の演習（治療後の受付での会話）	

分野	基礎分野	授 業 概 要	【一般目標】
科目名	4. コンピュータスキル		情報の授受に効果的なコンピュータの利用法を理解し、必要なデータや情報を有効活用するために、インターネットを利用した情報の収集、開示などに関する基本的知識、技能及び態度を習得する。
単 位	1		【到達目標】
時間数	30		1. パーソナルコンピュータを構成する基本的装置を知る。
授業回数	180分×10回		2. ソフトウェア（Word・Excel・PowerPoint）に関する基本的操作ができる。
授業形態	演習		3. インターネットの基本操作と活用ができる。
開講年度	2023年度		4. 効果的なプレゼンテーションができる。
時 期	前期		【授業計画】
担当講師 実務経験	河野和宏 ワード、エクセル、パワーポイントエキスパートとして実務経験あり		第1回 コンピュータの仕組み・コンピュータ操作の基礎知識
成績評価	試験 提出物		第2回 Webページの閲覧と検索・IE10/11の特徴と使用方法
教科書 参考資料	パソコン、充電器、USB プリントを配布します	第3回 文字入力と書式設定・表の作成	
		第4回 文書書式の設定・画像データの操作	
		第5回 表計算の基本操作・数式と関数、グラフの作成	
		第6回 プレゼンテーションの基本・パワーポイントの基本操作	
		第7回 効果的なプレゼンテーション	
		第8回 プレゼンテーションテクニック	
		第9回 テーマを設定し作品作成	
		第10回 発表	

分野	基礎分野	授業概要	【一般目標】
科目名	5. プレゼンテーションⅠ (臨地実習)		臨地実習現場で効率的に積極的に学ぶための事前学習、学んだことを振り返り、まとめ、発表することで学びを深め共有するための科目である。
単 位	1		【到達目標】
時間数	30		1. 実習の目的を理解する
授業回数	180分×10回		2. 実習生として基本姿勢を身に付ける
授業形態	演習		3. 実習に向けて事前学習を行う
開講年度	2023年度		4. 実習の内容をレポートにまとめる
時 期	前期・後期		5. 学んだことをスライドにまとめ発表する
担当講師 実務経験	下谷陽子 歯科衛生士としての実務経験あり		【授業計画】
成績評価	提出物 発表		第1回 実習オリエンテーション 第2回 実習施設の概要、事前学習 第3回 挨拶、態度、歩き方、見学の仕方・清潔、不潔、器具取扱い、感染予防 第4回 実習記録の書き方 第5回 実習のまとめ 第6回 学んだ内容をスライドにまとめる 第7回 実習報告会への参加、評価 第8回 実習報告会への参加、評価 第9回 レポートプレゼンテーションへの参加、評価、発表 第10回 レポートプレゼンテーションへの参加、評価、発表
教科書 参考資料	実習要項 臨床実習ハンドブック(学校図書)		

分野	基礎分野	授業概要	【一般目標】
科目名	6. プレゼンテーションⅡ		臨地実習の学びを充実させるために、臨地実習終了後に実習を振り返り、学修成果を報告する能力を高める科目である。主体性を持って学ぶことができる能力を修得する。
単 位	1		【到達目標】
時間数	30		1. オリエンテーションを理解できる。
授業回数	180分×10回		2. 臨地実習の学びを振り返る。
授業形態	演習		3. 臨地実習で学んだこと、経験したことをプレゼンテーションできる。
開講年度	2023年度		【授業計画】
時 期	前期・後期		第1回 前期臨地実習報告会での学び、報告会の準備① 第2回 報告会の準備② 第3回 前期臨地実習報告会① 第4回 前期臨地実習報告会② 第5回 後期臨地実習報告会での学び、報告会の準備① 第6回 後期臨地実習報告会① 第7回 後期臨地実習報告会② 第8回 後期臨地実習報告会③ 第9回 国家試験解説講座 受講① 第10回 国家試験解説講座 受講②
担当講師 実務経験	原 幸 歯科診療所で歯科衛生士としての実務経験あり		
成績評価	前期発表(40)・レポート(10) 後期発表(40)・レポート(10)		
教科書 参考資料	歯科衛生学総論 ウィルキンス歯科衛生士の臨床 原著第11版		

分野	基礎分野	授 業 概 要	【一般目標】
科目名	7. プレゼンテーションⅢ		これまでの歯科衛生士教育の中で学び、関心を持ったこと、発見したこと、探求したいと思ったことなどをテーマに研究をすすめ、明らかにしたいことを科学的かつ理論的に捉える思考を育てる科目である。
単 位	1		【到達目標】
時間数	30		1. 歯科衛生業務を行う上で、関心の分野を明確にできる。
授業回数	180分×20回		2. 研究テーマに関する情報を収集できる。
授業形態	講義		3. 収集した情報を整理分析できる。
開講年度	2023年度		4. 研究論文が作成できる。
時 期	前期		5. 研究論文を発表できる。
担当講師	船奥律子 増田洋子		【授業計画】
実務経験	原 幸 下谷陽子 歯科衛生士としての実務経験や学術大会で研究発表経験あり		第1回 オリエンテーション 第11回 卒業研究発表
成績評価	研究計画・事前学習(20点) 研究計画(40点) 研究内容・発表(40点)		第2回 研究テーマを設定 第12回 卒業研究発表
教科書 参考資料	プリントを配布します		第3回 研究資料の収集 第13回 卒業研究発表 第4回 研究方法の選択 第14回 卒業研究発表 第5回 研究計画を具体的に計画 第15回 レポートプレゼンテーション発表 第6回 データの集計 第16回 レポートプレゼンテーション発表 第7回 データの資料化 第17回 レポートプレゼンテーション発表 第8回 論文作成 第18回 レポートプレゼンテーション発表 第9回 論文作成 第19回 レポートプレゼンテーション発表 第10回 リハーサル 第20回 レポートプレゼンテーション発表

分野	基礎分野	授 業 概 要	【一般目標】
科目名	8. 人の行動と心理		生活の中における人間の行動を科学的に捉えることができるようになるために、行動科学や臨床心理学の意義を学ぶ。また、歯科衛生士として、患者と自分を理解するために、より良い人間関係を築けるコミュニケーション能力を身につける。
単 位	1		【到達目標】
時間数	15		1. 患者中心の歯科医療を実践するための対人関係の形式、会話態度の知識を修得する。
授業回数	180分×5回		2. 患者中心の歯科医療を実践するための対人関係の形式、会話態度の技法を修得する。
授業形態	講義		3. 患者への接し方を学ぶ。
開講年度	2023年度		【授業計画】
時 期	前期		第1回 生活行動科学について
担当講師	中條信義 歯科医師・公認心理士としての実務経験あり		第2回 生活行動科学に基づくヘルスカウンセリング
実務経験			第3回 ヘルスカウンセリングのものの見方
成績評価	論述式筆記試験		第4回 ヘルスカウンセリング法とは
教科書 参考資料	プリントを配布します		第5回 ヘルスカウンセリングの基本姿勢 第6回 カウンセリングの技法と展開 第7回 焦点をあててついていく 第8回 効果的な質問 第9回 感情の反映 第10回 技法の統合・まとめと試験



分野	専門基礎分野	授 業 概 要
科目名	<b>9. 解剖・組織発生・生理</b>	
単位	2	
時間数	30	
授業回数	180分×10回	
授業形態	講義	
開講年度	2023年度	
時期	前期	
担当講師 実務経験	守田 剛 歯科医師としての実務経験あり	
成績評価	学科試験(70) 確認テスト(30)	
教科書 参考資料	解剖学・組織発生学・生理学	
【一般目標】		人体の成り立ちを理解するために骨格系、筋系、内臓学、脈管系、神経系、感覚器の肉眼解剖的構造を学習し、人体の構造を系統別に理解する。人体の成り立ちを理解するために、組織・発生に関する基本的知識を習得する。医療従事者にとって知っておくべき基礎的な生体内のイベントについての系統的な理解を目的とする。
【到達目標】		1. 人体の構成、区分、方向用語を説明できる。 2. 骨格系、筋系、内臓学、脈管系、神経系、感覚器の構成、構造、機能が説明できる。 3. 細胞、組織、器官の相互関係から人体を理解する。 4. 人体の発生を理解する。 5. 細胞の構造と機能を説明できる。 6. 各器官の役割、仕組みを説明できる。
【授業計画】		第1回 解剖学で学ぶこと・骨格系 第2回 筋系・内臓学 第3回 内臓学 第4回 脈管系 第5回 神経学 第6回 感覚器・解剖学まとめ 第7回 生理学とは・組織 第8回 発生・細胞・血液循環 第9回 呼吸・筋・神経・感覚・消化吸収・排泄 第10回 体温・内分泌・生殖・まとめ

分野	専門基礎分野	授 業 概 要
科目名	<b>10. 人体の代謝と機能</b>	
単位	1	
時間数	15	
授業回数	180分×5回	
授業形態	講義	
開講年度	2023年度	
時期	前期	
担当講師 実務経験	石田 快 管理栄養士としての実務経験あり	
成績評価	学科試験(100)	
教科書 参考資料	栄養と代謝	
【一般目標】		人体の生命現象を分子レベルの化学反応から理解するために、人体の代謝と機能に関する基本的知識を習得する。
【到達目標】		1. 生体の構成要素と生体における化学反応を説明できる。 2. エネルギー代謝、物質の代謝を説明できる。 3. 生体における恒常性の維持を概説できる。
【授業計画】		第1回 生体の構成要素 第2回 生体における化学反応 第3回 糖質と脂質の代謝 第4回 糖質と脂質の代謝 第5回 タンパク質とアミノ酸の代謝・生体における恒常性の維持

分野	専門基礎分野	授 業 概 要	【一般目標】 人間が生命を維持するために重要な栄養・食生活を理解するために、栄養と食生活に関する基本知識を習得する。
科目名	11. 栄養・食生活		【到達目標】
単 位	2		1. 日本人の栄養摂取状況が概説できる.
時間数	30		2. 各栄養素の消化・吸収が説明できる.
授業回数	180分×10回		3. 各栄養素の働きが説明できる.
授業形態	講義		4. ライフステージの栄養と調理の特性が説明できる.
開講年度	2023年度		5. 望ましい食生活が概説できる.
時 期	前期・後期		【授業計画】
担当講師 実務経験	相澤心太 管理栄養士としての実務経験あり		第1回 栄養の基礎 第2回 食事摂取基準 第3回 糖質・タンパク質の栄養的意味 第4回 脂質・ビタミンの栄養的意味 第5回 ビタミン・ミネラルの栄養的意味 第6回 ミネラル・水の栄養的意味 第7回 食物繊維の栄養的意味・国民の健康と栄養の現状 第8回 望ましい食生活 第9回 ライフステージ別の栄養と調理 第10回 食品の成分と分類・食べ物の物性
成績評価	学科試験 (100)		
教科書 参考資料	栄養と代謝		

分野	専門基礎分野	授 業 概 要	【一般目標】
科目名	12. 歯・口腔の解剖・組織 発生・生理（講義）		顔面、口腔およびその周囲組織の成り立ちを理解するために、口腔とその周囲組織の構造と機能に関する基本的知識を修得する。また、歯科衛生士業務を行う上で、歯種別の形態と特徴を理解する。
単 位	3		【到達目標】
時間数	45		1. 頭頸部の基本的な構造と機能を説明できる。
授業回数	180分×15回		2. 顎顔面口腔領域を中心とする骨格系や筋系、脈管系、神経系を学ぶ。
授業形態	演習		3. 歯の解剖学的名称を理解して説明できる。
開講年度	2023年度		【授業計画】
時 期	前期・後期		第1回 顔面と口腔の発生
担当講師 実務経験	守田 剛 歯科医師としての実務経験あり		第11回 歯の形態
成績評価	学科試験(80) 確認テスト(20)		第12回 歯の形態
教科書 参考資料	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学	第13回 歯の形態	
		第14回 歯と歯周組織の発生	
		第15回 歯・口腔の構造と機能まとめ	
		第5回 歯と口腔の感覚	
		第6回 味覚と嗅覚	
		第7回 咬合と咀嚼・吸啜	
		第8回 嚥下と嘔吐	
		第9回 発声	
		第10回 唾液	

分野	専門基礎分野	授 業 概 要	【一般目標】
科目名	12. 歯・口腔の解剖・組織 発生・生理（演習）		顔面、口腔およびその周囲組織の成り立ちを理解するために、口腔とその周囲組織の構造と機能に関する基本的知識を修得する。また、歯科衛生士業務を行う上で、歯種別の形態と特徴を理解する。
単 位	1		【到達目標】
時間数	30		1. 頭頸部の基本的な構造と機能を説明できる。
授業回数	180分×10回		2. 顎顔面口腔領域を中心とする骨格系や筋系、脈管系、神経系を学ぶ。
授業形態	演習		3. 歯牙のスケッチができる。
開講年度	2023年度		4. 歯牙のスケッチができる。
時 期	前期・後期		5. 歯の解剖学的名称を理解して説明できる。
担当講師 実務経験	谷脇竜弥（歯科医師） 船奥律子（歯科衛生士） 下谷陽子（歯科衛生士） それぞれの職種での実務経験あり		【授業計画】
成績評価	谷脇：提出物・筆記試験(50) 船奥：提出物(30) 下谷：提出物(20)		第1回（スケッチ（上顎右側中切歯・上顎右側第一大臼歯）
教科書 参考資料	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学	第2回 上顎右側中切歯の歯型彫刻	
		第3回 上顎右側中切歯、上顎右側第一大臼歯の歯型彫刻	
		第4回 上顎右側第一大臼歯の歯型彫刻	
		第5回 実技試験（歯牙スケッチ）・筆記試験	
		第6回 全顎歯牙模型の配列（船奥）	
		第7回 口腔顎顔面解剖（船奥）	
		第8回 口腔顎顔面解剖（船奥）	
		第9回 解剖標本見学実習（下谷）	
		第10回 解剖標本見学実習レポート（下谷）	

分野	専門基礎分野	授 業 概 要	【一般目標】 口腔における生命現象を分子レベルの化学反応から理解するために、口腔における物質の代謝と機能に関する基本的知識を習得する。
科目名	13. 口腔の代謝と機能		【到達目標】 1. 歯の無機成分、有機成分を説明できる 2. 歯の脱灰と再石灰化を説明できる 3. 唾液中の無機質と有機質の作用を説明できる 4. う蝕、歯周疾患におけるデンタルプラークの関わりを説明できる
単 位	1		【授業計画】 第1回 歯と歯周組織の生化学（歯と歯周組織・結合組織） 第2回 歯の生化学・硬組織の生化学（血清中のカルシウムとリン酸・石灰化の仕組み） 第3回 硬組織の生化学（骨の生成と吸収・歯の脱灰と再石灰化） 第4回 唾液の生化学 第5回 プラークの生化学
時間数	15		
授業回数	180分×5回		
授業形態	講義		
開講年度	2023年度		
時 期	前期		
担当講師 実務経験	石田 快 管理栄養士としての実務経験あり		
成績評価	学科試験(100)		
教科書 参考資料	栄養と代謝		

分野	専門基礎分野	授 業 概 要	【一般目標】 口腔領域に発生する疾病の発生機序および病理学的特徴を理解するために、疾病の概念、病因と病態に関する基本的知識を修得する。
科目名	14. 病理学		【到達目標】 1. 一般病理学の基礎知識を理解する。 2. 全身における代表的な疾患の成り立ちやその病態を説明できる。 3. 口腔領域の疾患の成り立ちや詳細な病像を解説できる。
単 位	2		【授業計画】 第1回 病理学序論、病因・遺伝性疾患と奇形 第2回 循環障害・代謝障害と退行性病変 第3回 増殖と修復・炎症と免疫応答異常 第4回 腫瘍・歯の発育異常 第5回 歯の損傷と着色・付着物・う蝕 第6回 象牙質・歯髓複合体の病態・歯周組織の病変 第7回 歯周組織の病変・口腔粘膜の病変 第8回 口腔領域の嚢胞と腫瘍・口腔癌 第9回 顎骨の病変・唾液腺の病変 第10回 口腔領域の奇形・口腔組織の加齢変化
時間数	30		
授業回数	180分×10回		
授業形態	講義		
開講年度	2023年度		
時 期	前期		
担当講師 実務経験	永尾瑠佳 歯科医師としての実務経験あり		
成績評価	学科試験(100)		
教科書 参考資料	病理学・口腔病理学		

分野	専門基礎分野	授 業 概 要	【一般目標】
科目名	15. 微生物学		口腔の常在微生物とそれらが原因となる疾患を理解するために、微生物の基本的知識と感染によって生じる病態と生体の防御機構としての免疫に関する基本的知識を修得する。
単 位	2		【到達目標】
時間数	30		1. 感染のメカニズムを概説できる.
授業回数	180分×10回		2. 細菌について説明できる.
授業形態	講義		3. 免疫のメカニズムを説明できる.
開講年度	2023年度		4. 口腔微生物について説明できる.
時 期	前期		5. 感染予防の説明ができる.
担当講師 実務経験	廣島佑香 歯科医師としての実務経験あり		【授業計画】
成績評価	学科試験(80) 提出物(20)		第1回 感染と感染症・微生物の分類 第2回 細菌の構造と増殖 第3回 主な病原性細菌・ 第4回 ウイルス、真菌、原虫 第5回 宿主防御機構と免疫・液性免疫、細胞性免疫、アレルギー 第6回 口腔常在細菌、デンタルプラーク 第7回 う蝕、歯内感染症と微生物・歯周病と微生物 第8回 歯周病と微生物・その他の口腔感染症と微生物 第9回 主な化学療法の特徴・主な化学療法の種類 第10回 滅菌と消毒の違い・細菌の形態観察(実習)
教科書 参考資料	微生物学		

分野	専門基礎分野	授 業 概 要	【一般目標】
科目名	16. 薬理学		医科・歯科大学病院の研究者であり、麻酔科医として活躍する教員が、薬物作用の基本メカニズムに対する知識や薬物を安全かつ効果的に利用できるよう指導する科目である。
単 位	2		【到達目標】
時間数	30		1. 感染のメカニズムを概説できる.
授業回数	180分×10回		2. 細菌について説明できる.
授業形態	講義		3. 免疫のメカニズムを説明できる.
開講年度	2023年度		4. 口腔微生物について説明できる.
時 期	前期		5. 感染予防の説明ができる.
担当講師 実務経験	藤原茂樹 歯科医師としての実務経験あり		【授業計画】
成績評価	学科試験(80) 確認テスト(20)		第1回 薬物の病変定義と分類 第2回 薬理作用・投与経路と体内動態 第3回 薬物の連用・併用の効果・薬物の感受性 第4回 中枢神経に作用する薬物・鎮痛薬 第5回 自律神経に作用する薬物・運動神経に作用する薬物 第6回 運動神経に作用する薬物・循環・呼吸器に作用する薬物 第7回 止血薬・抗炎症薬 第8回 抗菌薬・消毒薬
教科書	薬理学		



分野	専門基礎分野	授 業 概 要	【一般目標】 歯・口腔の健康に関わる社会の仕組みを理解し、歯科疾患の予防能力を高める態度を養うために、歯・口腔の健康と予防に関する基本的知識を修得する。
科目名	<b>17. 口腔衛生学</b>		【到達目標】 1. 保健生態学の概念を理解する。 2. 歯・口腔の構造を理解する。 3. う蝕、歯周疾患の予防について理解する。 4. 口腔と全身疾患との関連について説明できる。
単 位	2		【授業計画】 第1回 保健生態学とは・予防医学の概念 第2回 疫学総論・疫学の方法 第3回 環境の概念・健康への影響 第4回 食品保健・栄養と健康 第5回 歯口腔の健康・歯口腔の構造 第6回 歯口腔の構造・歯口腔の付着物沈着物 第7回 口腔清掃の意義・口腔清掃の方法 第8回 う蝕発生のメカニズム・う蝕の予防法 第9回 フッ化物応用・フッ素の代謝、毒性 第10回 歯周疾患の分類・歯周疾患の予防法
時間数	30		
授業回数	180分×10回		
授業形態	講義		
開講年度	2023年度		
時 期	前期		
担当講師 実務経験	本那智昭 歯科医師としての実務経験あり		
成績評価	学科試験(60) 確認テスト(40)		
教科書 参考資料	保健生態学 保健情報統計学		

分野	専門基礎分野	授 業 概 要	【一般目標】 生活と健康に関わる社会の仕組みを理解し、地域社会における保健対策の基本的な考え方を学び、地域集団に対する疾病の予防能力を高める態度を養うために、健康に関わる地域の役割に関する基本的知識を習得する。
科目名	<b>18. 地域保健学</b>		【到達目標】 1. 地域保健の概念を理解する。 2. 各ライフステージごとの保健活動を理解する。 3. 地域保健の関連法規についての理解を深める。
単 位	1		【授業計画】 第1回 地域保健・公衆衛生の基本理念 第2回 母子保健 第3回 学校保健 第4回 成人保健 第5回 産業保健・老人保健
時間数	15		
授業回数	180分×5回		
授業形態	講義		
開講年度	2023年度		
時 期	前期		
担当講師 実務経験	本那智昭 歯科医師としての実務経験あり		
成績評価	学科試験(100)		
教科書	保健生態学		

致 謝 言  
参考資料

保健情報統計学





分野	専門基礎分野	授 業 概 要	<b>【一般目標】</b> 様々な環境やライフステージにおける歯科医療に対応するために、健康と予防に関わる人間と社会の仕組みを理解する。  <b>【到達目標】</b> 1. 健康と予防医学の概念を理解できる。 2. 人間をとりまく健康を左右する環境について理解できる。 3. 集団を対象とした地域保健活動のあり方を理解できる。 4. 他職種と歯科衛生士の関わりについて理解できる。  <b>【授業計画】</b> 第1回 総論・疫学・人口・健康と環境 第2回 健康と環境・感染症・食品と健康 第3回 食品と健康・前半まとめ・母子保健 第4回 学校保健・成人保健・高齢者保健 第5回 産業保健・精神保健・まとめ
科目名	<b>19. 衛生学・公衆衛生学</b>		
単 位	2		
時 間 数	15		
授業回数	180分×5回		
授業形態	講義		
開講年度	2023年度		
時 期	前期		
担当講師 実務経験	廣島佑香 歯科医師、研究者としての実務 経験あり		
成績評価	学科試験(100)		
教科書 参考資料	保健生態学		

分野	専門基礎分野	授 業 概 要	<b>【一般目標】</b> 現代社会のニーズに合った保健情報の取り扱いができるようになるために、関連する情報を把握し、衛生統計の手法を修得する。  <b>【到達目標】</b> 1. それぞれに応じた保健情報の収集方法を選択できる。 2. データの数値のもつ特徴を説明できる。 3. それぞれに応じたデータの処理・解析方法を選択できる。 4. コンピュータを用いた基本的な統計処理ができる。  <b>【授業計画】</b> 第1回 保健情報と保健統計 第2回 保健情報と疫学 第3回 実際の統計の処理（データ入力） 第4回 実際の統計の処理（データの処理方法について） 第5回 実際の統計の処理（データ処理練習） 第6回 実際の統計の処理（データ処理練習） 第7回 歯科疾患の指数 第8回 歯科疾患の指数 第9回 各統計の利用方法 第10回 保健統計の実際
科目名	<b>20. 統計活用法</b>		
単 位	1		
時 間 数	30		
授業回数	180分×10回		
授業形態	演習		
開講年度	2023年度		
時 期	前期・後期		
担当講師 実務経験	本那智昭 歯科医師として実務経験あり		
成績評価	レポート(50) 学科試験(50)		
教科書 参考資料	プリントを配布します ヨガマットまたはバスタオル		

分野	専門基礎分野	授 業 概 要	【一般目標】 日本の保健・医療・福祉制度と医事法制を理解し、歯科衛生のあり方を考える態度を養うために、歯科衛生士に必要な法律・制度に関する基本的知識を修得する。
科目名	21. 歯科衛生士と法律・制度		【到達目標】
単 位	1		1. 日本の衛生行政と社会保障の体系を説明できる。
時間数	30		2. 歯科衛生士の業務と法令および法令遵守について説明できる。
授業回数	180分×20回		3. 歯科衛生士として職場で知らなければならない教養としての社会福祉・社会保険の知識を説明できる。
授業形態	講義		4. 医療・福祉の職種との関連について説明できる。
開講年度	2023年度		【授業計画】
時 期	前期		第1回 歯科衛生士法の成り立ち、目的、定義と業務
担当講師 実務経験	北詰典子 歯科衛生士・社会福祉士・精神保健福祉士としての実務経験あり		第2回 免許・歯科衛生士名簿、登録・免許証の交付及び届出、相対的欠格事項
成績評価	学科試験(100)		第3回 歯科衛生士業務・身分・責任等についての法律
教科書 参考資料	歯科衛生士と法律・制度	第4回 歯科医療従事者の現況・医療法の成り立ちと目的	
		第5回 歯科医療とかわる医療関係者・各職種にかかわる法律	
		第6回 薬事に関連する法規・地域保健に関連する法規、その他の衛生法規	
		第7回 社会保障制度と医療保険・介護保険	
		第8回 社会福祉行政・社会福祉制度	
		第9回 国民の健康状態と受療状況・国民医療費の動向	
		第10回 全体的な振り返り	

分野	専門基礎分野	授 業 概 要	【一般目標】
科目名	22. 歯科衛生学総論		歯科衛生業務を実践して人びとの健康づくりを支援するために、保健医療人としての基本的態度を理解し、多様な科目において知識・技術を修得する態度および論理的思考法の基礎を修得する。
単 位	2		【到達目標】
時間数	30		1. 歯科衛生学の定義を述べるができる
授業回数	180分×10回		6. 歯科衛生士法に基づく歯科衛生業務が列挙できる
授業形態	講義		2. 歯科衛生と健康のかかわりを説明できる
開講年度	2023年度		7. 安全管理の必要性を説明できる
時 期	前期		3. 歯科衛生士の誕生について概要を説明できる
担当講師 実務経験	船奥律子 河野美枝子 歯科衛生士としての実務経験あり		8. 医の倫理について概説できる
成績評価	学科試験(70) レポート(30)		4. 歯科衛生士の誕生について概要を説明できる
教科書 参考資料	歯科衛生学総論	5. 保健行動の理論を説明できる	
		6. 歯科衛生士の活動領域と就業の推移を説明できる	
		7. 歯科衛生士の社会組織活動が説明できる	
		【授業計画】	
		第1回 歯科衛生学とは	
		第2回 歯科衛生士の歴史	
		第3回 歯科衛生活動のための理論	
		第4回 歯科衛生過程	
		第5回 歯科衛生士法と歯科衛生業務	
		第6回 歯科衛生士と医療倫理	
		第7回 歯科衛生士の倫理綱領	
		第8回 海外における歯科衛生士・まとめ	
		第9回 歯科衛生士の活動と組織	
		第10回 日本歯科衛生士会	

分野	専門分野	授 業 概 要	【一般目標】
科目名	23. 歯科衛生過程		対象者の抱える問題点を解決するために、原因を明らかにし、歯科衛生過程を用いて統括的に計画実施する歯科衛生業務の臨床応用を学ぶ。
単 位	1		【到達目標】
時間数	30		1. 歯科衛生過程の基本的な考え方を説明できる。
授業回数	180分×10回		2. 対象者の問題や原因を把握するための情報収集、情報の処理ができる。
授業形態	演習		3. 歯科衛生診断により対象者の抱える問題を明確化できる。
開講年度	2023年度		4. 問題の解決方法が計画できる。
時 期	前期・後期		5. 対象者の問題解決のための歯科衛生介入ができる。
担当講師 実務経験	船奥律子 歯科衛生士・社会福祉士としての実務経験あり		6. 問題の解決の過程と結果を判断、評価できる。
成績評価	レポート 歯科衛生過程演習評価		【授業計画】
教科書 参考資料	歯科予防処置論・歯科保健指導論	第1回 歯科衛生過程の基礎知識	
		第2回 歯科衛生アセスメントのための情報収集と情報処理	
		第3回 歯科衛生過程の展開（事例）	
		第4回 1年生への歯科衛生過程（第1回）	
		第5回 歯科衛生アセスメント、歯科衛生診断、歯科衛生計画	
		第6回 1年生への歯科衛生過程（第2回）	
		第7回 歯科衛生アセスメント、歯科衛生診断、歯科衛生計画	
		第8回 1年生への歯科衛生過程（第3回）	
		第9回 1年生への歯科衛生過程まとめ	
		第10回 演習の振り返り	

分野	専門分野	授 業 概 要	【一般目標】
科目名	24. 臨床歯科総論		臨床における歯科診療の概要と流れを理解する。また、歯科衛生業務を行うために必要な放射線の基本的知識と撮影時の歯科診療補助順、画像の管理および基本的な読影法を修得する。
単 位	1		【到達目標】
時間数	30		1. 歯科医療の内容を説明できる。
授業回数	180分×10回		2. 歯科診療の流れの概要を説明できる。
授業形態	演習		3. 歯の正常と異常を説明できる。
開講年度	2023年度		4. 各分野の治療の特徴を説明できる。
時 期	前期・後期		5. 放射線の生物学的影響を理解し、放射線防御を概説できる。
担当講師 実務経験	藤中恵子 水頭英樹 歯科医師としての実務経験あり		6. 口内法ならびにパノラマエックス線撮影の手技を説明できる。
成績評価	学科試験(100)		7. う蝕と歯周病および顎骨に生じる病変のエックス線所見を概説できる。
教科書 参考資料	歯科衛生士のための歯科臨床概論 歯科放射線	【授業計画】 第1回 歯科医学・歯科診療所と歯科診療 第6回 放射線とその防御 第2回 歯科疾患 第7回 歯・口腔顎顔面領域の撮影補助 第3回 歯科保存治療・歯周治療の概要 第8回 フィルムの現像と管理 第4回 歯科補綴・小児歯科治療の概要 第9回 放射線腫瘍学 第5回 矯正歯科・口腔外科治療の概要 第10回 撮影時の歯科診療補助	

分野	専門分野	授 業 概 要	【一般目標】
科目名	25. 保存修復学・歯内療法学		大学病院で専門性の高い歯科保存の臨床経験のある歯科医師が、歯髄疾患、根尖性歯周組織疾患の病因と病態および治療法を指導する科目である
単 位	1		【到達目標】
時間数	30		1. う蝕について説明できる
授業回数	180分×10回		2. 窩洞の分類を説明できる
授業形態	演習		3. 直接修復法の種類や特徴を説明できる
開講年度	2023年度		4. 間接修復法の種類や特徴を説明できる
時 期	前期		5. 歯髄疾患、根尖性歯周組織疾患を説明できる
担当講師 実務経験	米倉和秀 植村勇太 歯科医師としての実務経験あり		6. 歯内療法における偶発症を説明できる
成績評価	学科試験(100)		7. 保存療法、除去療法、根管治療を説明できる
教科書 参考資料	保存修復・歯内療法	8. 根管充填について説明できる	
		9. 歯の外傷と処置を概説できる	
		【授業計画】 第1回 歯の保存療法の違い・口腔診査・保存修復の概要 第2回 保存修復の概要 第3回 直接法修復 第4回 間接法修復 第5回 間接法修復・まとめ 第6回 歯内療法の概要 第7回 歯内療法における歯科衛生士の役割・歯髄保存療法 第8回 歯髄の除去療法 第9回 根管治療・根管充填・歯の外傷 第10回 外科的歯内療法・歯内療法における安全対策・まとめ	

分野	専門分野	授 業 概 要	【一般目標】 歯科衛生業務を行うために必要な歯周組織に生じる疾患の種類、症状、診断法および治療法を理解する。
科目名	26. 歯周治療学		【到達目標】 1. 歯周組織の構造・機能を説明できる。 2. 歯周疾患の診査方法を説明できる。 3. 歯周疾患の分類と原因・病態を説明できる。 4. 歯周疾患の処置の方法と目的を説明できる。 5. 歯周治療における歯科衛生士の役割を説明できる。
単 位	1		【授業計画】 第1回 歯周治療の概要と臨床での展開（桐野） 第2回 正常な歯周組織の構造と機能 第3回 歯周病の分類と原因 第4回 歯周治療の進め方 第5回 歯周病の検査 第6回 歯周基本治療 第7回 歯周外科治療 第8回 歯周治療としての口腔機能回復治療 第9回 メインテナンス（原） 第10回 歯周治療における歯科衛生士の役割（原）
時間数	30		
授業回数	180分×20回		
授業形態	講義		
開講年度	2023年度		
時 期	前期・後期		
担当講師 実務経験	桐野晃教（歯科医師） 板東美香（歯科医師） 原 幸（歯科衛生士） それぞれの職種で実務経験あり		
成績評価	学科試験 提出物		
教科書 参考資料	歯周病学		

分野	専門分野	授 業 概 要	【一般目標】 歯を失った患者の気持ちに寄り添い、適切な歯科衛生業務を行うために、歯と口腔、顎の機能の大切さを認識し、補綴処置の診査・診断・治療・ケアについての知識を修得する。
科目名	27. 歯科補綴学		【到達目標】 1. 歯科補綴について説明できる。 2. 歯の欠損による変化・障害について説明できる。 3. 補綴物の名称を列挙できる。 4. 補綴物の特徴を説明できる。 5. 補綴治療と高齢者歯科とのかかわりを説明できる。
単 位	1		【授業計画】 第1回 歯科補綴の概要／補綴歯科治療の意義と目的／歯科衛生士の役割 第2回 補綴歯科治療の基礎知識／歯列と咬合／口腔の機能 第3回 補綴歯科治療における検査／医療面接と診察 第4回 クラウン・ブリッジ治療／クラウン・ブリッジ治療の概要と診察の補助 第5回 有床義歯治療／全部床義歯治療の概要と診察補助 第6回 有床義歯治療／部分床義歯治療の概要と診察補助 第7回 部分床義歯治療の流れと診察補助／インプラント治療の概要 第8回 インプラント治療／インプラント治療の流れと診察補助 第9回 特殊な口腔内装置を用いる治療 第10回 補綴歯科治療における器材の管理
時間数	30		
授業回数	180分×10回		
授業形態	演習		
開講年度	2023年度		
時 期	後期		
担当講師 実務経験	後藤 崇晴 田上 義弘 歯科医師としての実務経験あり		
成績評価	学科試験(100) ※後藤(学科試験(45)小テスト(5)) 田上(50)		
教科書 参考資料	歯科補綴学(医歯薬出版) 高齢者歯科(医歯薬出版)		

分野	専門分野	授 業 概 要
科目名	<b>28. 口腔外科学</b> <b>歯科麻酔学</b>	
単 位	1	
時間数	30	
授業回数	180分×10回	
授業形態	演習	
開講年度	2023年度	
時 期	前期・後期	
担当講師 実務経験	藤原茂樹 浪花耕平 可児耕一 佐藤真美  歯科医師としての実務経験あり	
成績評価	学科試験(100) ※歯科麻酔学(30) 口腔外科学(70)	
教科書 参考資料	口腔外科・歯科麻酔 (医歯薬出版)	
<p><b>【一般目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科衛生業務を行うために必要な顎・口腔領域に生じる各種疾患の特徴と症状、診断法および治療法を理解する。</li> <li>・歯科衛生業務を行うために必要な全身管理、局所麻酔、精神鎮静法および全身麻酔を理解する。</li> <li>・歯科衛生業務を行うために必要な顎・口腔領域に生じる各種疾患の特徴と症状、診断法および治療法を理解する。</li> </ul> <p><b>【到達目標】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 麻酔の目的を説明できる。</li> <li>2. 歯科局所麻酔や精神鎮静法、全身麻酔について説明できる。</li> <li>3. 救命救急処置について説明できる。</li> <li>4. 口腔外科疾患の特徴を説明できる。</li> <li>5. 手術介助に必要な器具を準備できる。</li> <li>6. 外科手術に必要な消毒と滅菌について説明できる。</li> <li>7. 手術の術式を理解し、適切な介助を行うことができるようになる。</li> </ol> <p><b>【授業計画】</b>「歯科麻酔学」第1回～3回, 「口腔外科学」第4回～10回</p> <p>第1回 安全な歯科治療のために/全身状態の評価と患者管理/治療中の合併症</p> <p>第2回 局所麻酔・局所麻酔時の合併症/精神鎮静法</p> <p>第3回 全身麻酔/救急蘇生</p> <p>第4回 口腔外科の概要/口腔領域の先天疾患、口腔領域の損傷</p> <p>第5回 腔外科診療における診療と診断/滅菌と消毒/口腔粘膜疾患</p> <p>第6回 口腔領域の炎症、顎関節疾患/創傷処置</p> <p>第7回 抜歯術/口腔領域の嚢胞、腫瘍</p> <p>第8回 唾液腺疾患/口腔外科小手術</p> <p>第9回 口腔外科小手術、口腔内出血に対する対処法/口腔領域の神経疾患等</p> <p>第10回 口腔外科小手術/インプラント手術の介助の実際</p>		

分野	専門分野	授 業 概 要
科目名	<b>29. 小児歯科学</b>	
単 位	1	
時間数	30	
授業回数	180分×10回	
授業形態	演習	
開講年度	2023年度	
時 期	後期	
担当講師 実務経験	長谷川智一  歯科医師としての実務経験あり	
成績評価	学科試験(100)	
教科書 参考資料	小児歯科 (医歯薬出版)	
<p><b>【一般目標】</b></p> <p>歯科衛生業務を行うために必要な小児の身体的・心理的特徴と小児の歯科治療を理解する。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小児の発達・発育の特徴を説明できる。</li> <li>2. 小児の口腔の特徴を説明できる。</li> <li>3. 小児う蝕の特徴、う蝕予防および進行抑制法を説明できる。</li> <li>4. 小児の歯科診療補助時の注意点を説明できる。</li> </ol> <p><b>【授業計画】</b></p> <p>第1回 小児歯科概論/小児発育の特徴</p> <p>第2回 顔面・頭蓋の発育/歯の発育とその異常</p> <p>第3回 歯列・咬合の発育と異常/小児の歯科疾患</p> <p>第4回 小児の歯科疾患/小児の口腔軟組織</p> <p>第5回 小児期の特徴と歯科的問題点/小児歯科における診療体系</p> <p>第6回 小児歯科における麻酔法・小児の歯冠修復/歯内療法・小児の外科的処置</p> <p>第7回 小児の外傷の特徴・処置・予防法/咬合誘導・口腔習癖と歯科的問題点</p> <p>第8回 小児歯科における歯科衛生士の役割・年齢別に見た小児行動と対応法</p>		



分野	専門分野	授 業 概 要	【一般目標】
科目名	<b>30. 障害者歯科学</b>		歯科衛生業務を行うために必要な障害者の身体的・心理的特徴と歯科治療を理解する。
単 位	1		【到達目標】
時間数	30		1. 障害者の現況について説明できる。
授業回数	180分×10回		2. 障害の種類や特性、歯科的特徴を説明できる。
授業形態	演習		3. 障害者の口腔保健指導に必要な知識を修得する。
開講年度	2023年度		4. 障害に配慮した診療補助ができる。
時 期	後期		【授業計画】
担当講師 実務経験	北村尚正 歯科医師としての実務経験あり  下谷陽子 歯科衛生士としての実務経験あり		第1回 障害の概念 第2回 歯科医療で特別な支援が必要な疾患／神経発達症群 第3回 歯科医療で特別な支援が必要な疾患／運動障害・感覚障害・音声言語障害 第4回 歯科医療で特別な支援が必要な疾患／精神および行動の障害 第5回 歯科医療で特別な支援が必要な疾患／障害者の歯科医療と行動調整 第6回 健康支援と口腔衛生管理／リスク評価と安全管理 第7回 摂食・嚥下リハビリテーション／地域における障害者歯科 第8回 障害者の歯科医療と行動調整 第9回 健康支援と口腔衛生管理① 第10回 健康支援と口腔衛生管理②
成績評価	学科試験(75) 確認テスト(25)		
教科書 参考資料	障害者歯科(医歯薬出版)		

分野	専門分野	授 業 概 要	【一般目標】
科目名	<b>31. 歯科矯正学</b>		歯科衛生業務を行うために必要な不正咬合の症状および治療法を理解する。
単 位	1		【到達目標】
時間数	30		1. 顎顔面領域の成長・発達・歯列や咬合の発育を説明できる。
授業回数	180分×10回		2. 正常咬合、不正咬合について説明できる。
授業形態	演習		3. 予防、検査、診断、治療方法を説明できる。
開講年度	2023年度		4. 歯科矯正の分野における歯科衛生士の役割を説明できる。
時 期	後期		【授業計画】
担当講師 実務経験	中上絵美子 歯科医師としての実務経験あり		第1回 矯正歯科治療の概要／成長・発育 第2回 正常咬合・不正咬合／不正咬合の分類・原因・予防 第3回 矯正歯科治療における診断／検査と症例分析、拔牙と非拔牙治療 第4回 歯の移動と固定・組織反応・歯の移動様式／矯正力と顎整形力・保定 第5回 矯正装置 第6回 上下顎の不調和・成人矯正／口腔顎顔面の形成異常等 第7回 矯正歯科治療時のトラブルへの対応・健康保険が適用される矯正歯科治療 第8回 矯正歯科診療時の業務 第9回 口腔筋機能療法／器材、資料、文書の管理 第10回 まとめ
成績評価	学科試験(75) 確認テスト(25)		
教科書 参考資料	障害者歯科(医歯薬出版)		



分野	専門分野	授 業 概 要	【一般目標】 高齢者に寄り添うことができる歯科衛生士になるために、高齢者を取り巻く環境や心身機能の変化を理解する。
科目名	<b>32. 高齢者歯科学</b>		【到達目標】 1. 高齢者の特性を理解できる。 2. 要介護高齢者に必要な口腔ケアの重要性を理解できる。 3. 高齢者に多い疾患の特性と薬剤について理解できる。 4. 高齢者を支える法制度について理解できる。
単 位	1		【授業計画】 第1回 高齢者を取りまく社会と環境 第2回 加齢による身体的・精神的変化と疾患 第3回 高齢者の状態の把握①高齢者の生活機能評価, 高齢者歯科と臨床検査 第4回 高齢者の状態の把握②高齢者の栄養状態・薬剤服用 第5回 高齢者に対する口腔ケア, 有病高齢者への口腔ケア 第6回 要介護高齢者への口腔ケア 第7回 高齢者のリハビリテーションの概要, 摂食嚥下の評価と対応 第8回 誤嚥性肺炎の予防, 在宅訪問歯科診療における摂食嚥下リハビリテーション 第9回 在宅訪問診療の概要, 歯科衛生士が関わる公的介護保険の概要 第10回 かかりつけ歯科の役割, 訪問看護と歯科の役割
時間数	30		
授業回数	180分×10回		
授業形態	演習		
開講年度	2023年度		
時 期	前期・後期		
担当講師 実務経験	青田桂子 浪花耕平 佐藤真美 歯科医師としての実務経験あり		
成績評価	学科試験(100)		
教科書 参考資料	高齢者歯科学		

分野	専門分野	授 業 概 要	【一般目標】 周術期の口腔機能管理のチーム医療の中で、歯科衛生士としての役割を果たすために、全身疾患の把握および感染防御、栄養サポートの取り組みを学ぶ。
科目名	<b>33. 全身管理と周術期の口腔健康管理</b>		【到達目標】 1. 周術期の口腔機能管理について説明できる。 2. 周術期の口腔機能管理について説明できる。 3. 周術期の病態とその治療法を説明できる。 4. 術後に口腔機能障害が伴った場合の口腔リハビリテーションの必要性を説明できる。 5. 周術期等に歯科衛生士が行う専門的口腔衛生処置の説明ができる。 6. 周術期等に歯科衛生士が行う専門的口腔衛生処置ができる。
単 位	1		【授業計画】 第1回 当事者の体験(骨髄移植) (山口明大) 第2回 周術期等口腔機能管理の概要 (青田桂子) 第3回 周術期等口腔機能管理(Ⅰ)(Ⅱ)(Ⅲ) (青田桂子) 第4回 摂食・嚥下のメカニズムと障害の原因 (多田悦尚) 第5回 摂食・嚥下のメカニズムと障害の原因 (多田悦尚) 第6回 摂食・嚥下障害の検査・評価 (多田悦尚) 第7回 摂食・嚥下障害のリハビリテーションと摂食機能療法 (多田悦尚) 第8回 リハビリテーションの実際(実技・症例) (多田悦尚) 第9回 チーム医療・連携医療で行う周術期口腔機能管理 (石川久子) 第10回 病態の把握(化学療法・放射線治療・気管内挿管)専門的口腔衛生処置 (石川)
時間数	30		
授業回数	180分×10回		
授業形態	講義		
開講年度	2023年度		
時 期	前期・後期		
担当講師 実務経験	山口明大 青田桂子(歯科医師) 多田悦尚(言語聴覚士) 石川久子(歯科衛生士) それぞれの職種で実務経験あり		
成績評価	レポート(山口10点) 学科試験 (青田20点・多田50点・石川20点)		
教科書 参考資料	口腔外科・歯科麻酔、高齢者歯科(青田) 歯科診療補助論(青田) プリントを配布します(多田・石川)		

分野	専門分野	授 業 概 要	【一般目標】
科目名	<b>34. 歯科予防処置論Ⅰ</b> (講義)		口腔や歯の疾患を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識、技術および態度を修得する。
単 位	1		【到達目標】
時間数	15		1. 歯科予防処置の概念と内容を概説できる。
授業回数	180分×5回		2. 歯科予防処置の法的位置づけを概説できる。
授業形態	講義		3. 歯科予防処置の範囲と業務を概説できる。
開講年度	2023年度		4. 歯周予防を概説できる。
時 期	前期		5. う蝕予防を概説できる。
担当講師 実務経験	下谷陽子 歯科衛生士としての実務経験あり		【授業計画】
成績評価	学科試験 (100)		第1回 総論、口腔の基礎知識① 第2回 口腔の基礎知識② (口腔内の付着物、沈着物) 第3回 う蝕、歯周病 第4回 スケーリング、ルートプレーニング 第5回 フッ化物応用法、小窩裂溝填塞法
教科書 参考資料	歯科予防処置論・歯科保健指導論		

分野	専門分野	授 業 概 要	【一般目標】
科目名	<b>34. 歯科予防処置論Ⅰ</b> (演習)		口腔や歯の疾患を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識、技術および態度を修得する。
単 位	1		【到達目標】
時間数	30		1. スケーラーの種類と使用方法を説明できる。
授業回数	180分×20回		2. シックル型スケーラーを操作できる。
授業形態	演習		3. グレーシー型キュレットスケーラーを操作できる。
開講年度	2023年度		4. 歯面研磨ができる。
時 期	前期、後期		5. フッ化物歯面塗布ができる。
担当講師 実務経験	下谷陽子 歯科衛生士としての実務経験あり		【授業計画】★白衣着用
成績評価	1) 実技試験(30点) 2) 項目ごとの実技評価(40点) 3) 小テスト(15点)		第1回 歯科衛生過程① 第2回 歯科衛生過程② 第3回 シックル型スケーラーの操作① 第4回 ★シックル型スケーラーの操作② 第5回 ★グレーシー型キュレットスケーラーの操作① 第6回 ★グレーシー型キュレットスケーラーの操作② 第7回 ★グレーシー型キュレットスケーラーの操作③ 第8回 ★手用スケーラーの実技評価 第9回 ★実習室オリエンテーション 第10回 対象者の把握、口腔内診査、口腔内状況①
教科書 参考資料	4) 提出物の評価(15点) 歯科予防処置論・歯科保健指導論		

分野	専門分野	授 業 概 要	【一般目標】
科目名	<b>35. 歯科予防処置論Ⅱ</b> (講義)		歯科臨床での歯周疾患の予防やう蝕予防処置ができる歯科衛生士になるための知識を修得する。
単 位	1		【到達目標】
時間数	15		1. 臨床で行われる歯科疾患の予防に対する歯科衛生士の役割りが説明できる。
授業回数	180分×5回		2. 口腔内診査の検査項目・方法を説明できる。
授業形態	講義		3. 予防的歯石除去、歯面研磨、歯面清掃器、PMTC,PTC意義手順が説明できる。
開講年度	2023年度		4. 小窩裂溝填塞の材料の種類とその適応が説明できる。
時 期	前期		【授業計画】
担当講師 実務経験	下谷 陽子  歯科衛生士としての実務経験あり		第1回 口腔の器質的問題の把握 第2回 口腔の機能的問題の把握、分析のためのデータ 第3回 スケーラー、歯面研磨 第4回 フッ化物応用法① 第5回 フッ化物応用法②、小窩裂溝填塞法
成績評価	学科試験(90) 確認テスト・提出物(10)		
教科書 参考資料	歯科予防処置論・歯科保健指導論		

分野	専門分野	授 業 概 要	【一般目標】
科目名	<b>35. 歯科予防処置論Ⅱ</b> (演習)		歯科臨床での歯周疾患やう蝕予防処置ができる歯科衛生士になるために、知識や技術を修得する。
単 位	2		【到達目標】
時間数	60		1. 口腔内診査の検査項目や方法を理解し、実施できる。
授業回数	180分×20回		2. 予防的歯石除去、歯面研磨、歯面清掃を実施できる。
授業形態	講義		3. 各種フッ化物の特徴を理解し、臨床への応用ができる。
開講年度	2023年度		4. 小窩裂溝填塞の材料の種類に応じた填塞ができる。
時 期	後期		【授業計画】★白衣着用
担当講師 実務経験	下谷 陽子  歯科衛生士としての実務経験あり		第1回 ★手用スケーラーの操作 第2回 ★超音波スケーラーの操作① 第3回 ★超音波スケーラーの操作② 第4回 ★超音波スケーラーの操作③ 第5回 ★スケーラーの実技評価 第6回 口腔内診査 第7回 ★口腔内診査 第8回 ★歯面清掃、歯面研磨① 第9回 ★歯面清掃、歯面研磨② 第10回 ★歯面清掃、歯面研磨実技評価
成績評価	科目終了時の実技試験(30) 項目ごとの実技評価(40) 小テスト(15)・提出物(15)		第11回 フッ化物応用① 第12回 ★フッ化物歯面塗布法① 第13回 ★フッ化物歯面塗布法② 第14回 ★フッ化物歯面塗布の実技評価 第15回 小窩裂溝填塞法 第16回 ★小窩裂溝填塞法 第17回 う蝕活動性試験 第18回 ★分析のためのデータ 第19回 ★PTC① 第20回 ★PTC②
教科書 参考資料	歯科予防処置論・歯科保健指導論		

分野	専門分野	授 業 概 要	【一般目標】
科目名	<b>36. 歯科予防処置論Ⅲ</b> (講義)		歯科予防処置についての専門知識、および態度を修得し、卒業後の臨床応用に発展することができるよう3年間の知識をまとめる。
単 位	1		【到達目標】
時間数	15		1. う蝕活動性試験の目的と種類を説明できる。
授業回数	180分×5回		2. 歯周病に関連する指標を説明できる。
授業形態	演習		3. 歯面研磨、歯面清掃の意義を説明できる。
開講年度	2023年度		4. フッ化物応用の使用薬剤の種類と濃度、およびその取扱い方を説明できる。
時 期	前期・後期		5. 小窩裂溝填塞材の種類と特徴、適応歯、実施上の注意点を説明できる。
担当講師 実務経験	下谷陽子 歯科衛生士としての実務経験あり		【授業計画】
成績評価	1) 学科試験 (100点)		第1回 歯科衛生予防処置のまとめ① (総論、歯周病予防処置①) 第2回 歯科衛生予防処置のまとめ② (歯周病予防処置②) 第3回 歯科衛生予防処置のまとめ③ (歯周病予防処置③) 第4回 歯科衛生予防処置のまとめ④ (う蝕予防処置①) 第5回 歯科衛生予防処置のまとめ⑤ (う蝕予防処置②)
教科書 参考資料	歯科予防処置論・歯科保健指導論		

分野	専門分野	授 業 概 要	【一般目標】
科目名	<b>36. 歯科予防処置論Ⅲ</b> (演習)		歯科予防処置についての専門知識、技術および態度を修得し、卒業後の臨床応用に発展することができるよう3年間の知識、技術をまとめる。
単 位	1		【到達目標】
時間数	30		1. 定期的に継続して行う口腔保健管理の意義を説明できる。
授業回数	180分×10回		2. 口腔健康状態を維持するための歯科衛生士の役割が概説できる。
授業形態	演習		3. 対象者が必要とする健康支援を述べることができる。
開講年度	2023年度		4. 臨床で行う歯科予防処置法の知識が修得できている。
時 期	前期・後期		5. 臨床で行う歯科予防処置法の技術が修得できている。
担当講師 実務経験	川原博雄 (3回) 歯科医師としての実務経験あり 下谷陽子 (7回) 歯科衛生士としての実務経験あり		【授業計画】
成績評価	1) 実技試験 (30点) 2) 項目ごとの実技評価 (40点) 3) 確認小テスト (15点) 4) 提出物の評価 (15点)		第1回 歯科医療の価値 第2回 カリオロジー 第3回 ペリオドントロジー 第4回 ★口腔内写真撮影 (5枚法) 第5回 ★シャープニング 第6回 ★ルートプレーニング 第7回 ★歯科予防処置のまとめ① (歯、歯周組織の検査) 第8回 ★歯科予防処置のまとめ② (スケーリング) 第9回 ★歯科予防処置のまとめ③ (小窩裂溝填塞法、フッ化物応用) 第10回 ★歯科予防処置のまとめ④ (PTC)
教科書 参考資料	歯科予防処置論・歯科保健指導論		

分野	専門分野	<b>【一般目標】</b> 健康と疾病の概念を理解し、人々の歯・口腔の健康を維持増進するために、プロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる知識を修得する。  <b>【到達目標】</b> 1. 歯科保健指導の意義と特性を説明できる。 2. 口腔の構造と機能、全身状態の把握方法を説明できる。 3. う蝕と歯周病の原因と進行、予防方法を説明できる。 4. 食品と歯科疾患の関連性を説明できる健康教育に必要な情報を収集できる。 5. 歯科保健指導に関わる理論と行動変容を説明できる。  <b>【授業計画】</b> 第1回 歯科保健指導論の概要 第2回 口腔の基礎知識歯科保健指導の基礎知識 第3回 う蝕と歯周病の基礎知識 第4回 食生活指導のための基礎知識 第5回 食生活指導のための基礎知識
科目名	<b>37. 歯科保健指導論Ⅰ</b> <b>(講義)</b>	
単位	1	
時間数	15	
授業回数	180分×5回	
授業形態	講義	
開講年度	2023年度	
時期	前期	
担当講師 実務経験	増田洋子 歯科衛生士として実務経験あり	
成績評価	学科試験(100)	
教科書 参考資料	歯科予防処置論・歯科保健指導論	

分野	専門分野	<b>【一般目標】</b> 歯科衛生士、社会福祉士、精神保健福祉士の資格を有し、妊婦から終末期にいたるさまざまな地域住民の口腔健康支援を実施している教員が、健康に関わる社会制度を指導す。  <b>【到達目標】</b> 1. 情報収集の目的や得られる情報を説明できる。 2. 全身の健康状態、口腔の問題を把握できる。 3. 口腔健康管理を行うための歯科衛生介入計画を立案できる。  <b>【授業計画】</b> 第1回 健康とは・個人を取り巻く環境 第2回 生活習慣と健康 第3回 健康への取り組み 第4回 健康を支え合う仕組み 第5回 口腔保健から見た健康 第6回 地域歯科保健活動の実際 第7回 歯科衛生過程の進め方 第8回 歯科衛生過程の進め方 第9回 歯科衛生アセスメント情報収集と情報処理 第10回 歯科衛生アセスメント情報収集と情報処理 第11回 歯科衛生アセスメント★相互実習 第12回 歯科衛生士介入としての歯科保健指導 第13回 歯科衛生士介入としての歯科保健指導 第14回 歯科衛生士介入としての歯科保健指導 第15回 歯科衛生士介入・ライフステージ 第16回 歯科衛生士介入・ライフステージ 第17回 歯科衛生士介入・ライフステージ 第18回 歯科衛生士介入★相互実習 第19回 症例検討 第20回 まとめ・実技試験練習
科目名	<b>37. 歯科保健指導論Ⅰ</b> <b>(演習)</b>	
単位	60	
時間数	180分×20回	
授業回数	講義	
授業形態	2023年度	
開講年度	前期	
時期		
担当講師 実務経験	増田洋子 歯科衛生士として実務経験あり	
成績評価	科目終了時の実技試験(30) 項目ごとの実技評価(40) 小テスト(15)・提出物(15)	
教科書 参考資料	歯科予防処置論・歯科保健指導論	

分野	専門分野	授業概要	【一般目標】
科目名	<b>38. 歯科保健指導論Ⅱ</b> (講義)		健康教育活動の場で指導するために、必要な専門知識、技術および態度を習得する。
単位	1		【到達目標】
時間数	15		1. 健康教育の対象と場の特徴を概説できる。
授業回数	180分×5回		2. 健康教育の評価を説明できる。
授業形態	講義		3. 健康教育活動の方法を説明できる。
開講年度	2023年度		4. 健康教育に必要な情報を収集できる。
時期	前期		【授業計画】
担当講師 実務経験	増田 洋子  歯科衛生士としての実務経験あり		第1回 ヘルスプロモーションの考え方／地域におけるヘルスプロモーション 第2回 健康教育の概要・健康教育の進め方／健康教育の方法(展開例)イオンがき大会 第3回 災害時の歯科保健医療／地域歯科保健活動のフィールド(保育所・幼稚園・学校等) 第4回 地域歯科保健活動のフィールド(介護予防事業)・対象者の特性とニーズの把握(学齢期・老年期) 第5回 情報収集(学童・老人デイサービスセンター利用者)
成績評価	学科試験(100)		
教科書 参考資料	歯科予防処置論・歯科保健指導論		

分野	専門分野	授業概要	【一般目標】
科目名	<b>38. 歯科保健指導論Ⅱ</b> (演習)		対象集団の口腔健康支援ができる歯科衛生士になるために、集団歯科保健指導の計画、実施ができる。
単位	2		【到達目標】
時間数	60		1. 対象集団の歯科疾患の発生リスクが説明できる。
授業回数	180分×20回		2. 生活行動の問題を解決する指導計画を立案できる。
授業形態	講義		3. 保健行動の動機づけとなる媒体が作成できる。
開講年度	2023年度		4. 歯科保健指導案に基づいた歯科保健指導ができる。
時期	後期		5. 終了後改善事項を提案し、改善策を協議できる。
担当講師 実務経験	船奥律子 増田洋子  歯科衛生士としての実務経験あり		【授業計画】
成績評価	科目終了時の実技試験(30) 項目ごとの実技評価(40) 小テスト(15)・提出物(15)		第1回 指導案作成(主題・ねらい・指導内容の検討) 第2回 指導案作成(主題・ねらい・指導内容の検討) 第3回 指導に必要な原稿・媒体・資料の作成 第4回 指導に必要な原稿・媒体・資料の作成 第5回 リハーサル・指導案の検討確認小テスト・口腔内診査 第6回 ★実技試験(1年生への発表) 第7回 指導内容の振り返り 第8回 老人デイサービスセンター利用者の対象把握及び情報収集・指導案作成
教科書	歯科予防処置論・歯科保健指導論		



分野	専門分野	授 業 概 要	【一般目標】
科目名	<b>39. 歯科保健指導論Ⅲ</b> (講義)		これまで学んだ歯科保健指導の基礎と、臨床での体験をまとめ、資格試験に対応できる知識を習得することを目的とする。
単 位	1		【到達目標】
時間数	15		1. 食品と歯科疾患の関連性を説明できる。
授業回数	180分×5回		2. 行動変容の手法を説明できる。
授業形態	講義		3. 各ライフステージにおける課題と指導の要点を説明できる。
開講年度	0		【授業計画】
時 期	前期		第1回 歯科保健指導の概要のまとめ・健康日本21・歯科疾患実態調査
担当講師 実務経験	増田洋子 歯科衛生士としての実務経験あり		第2回 歯科疾患実態調査・歯科保健指導の基礎知識まとめ・口腔の基礎・口腔の機能
成績評価	学科試験(100)		第3回 対象別の歯科衛生介入のまとめ
教科書 参考資料	歯科予防処置論・歯科保健指導論	第4回 対象別の歯科衛生介入のまとめ	
			第5回 地域歯科保健活動のまとめ

分野	専門分野	授 業 概 要	【一般目標】
科目名	<b>39. 歯科保健指導論Ⅲ</b> (演習)		歯科衛生アセスメント、歯科衛生介入としての歯科保健指導の技術をより深く学び、臨床での応用展開につなげることを目的とする。
単 位	1		【到達目標】
時間数	30		1. 口腔衛生の評価・指導ができる。
授業回数	180分×10回		2. 口腔機能の評価・訓練ができる。
授業形態	演習		3. 生活習慣の改善につながる働きかけができる。
開講年度	2023年度		4. 要介護者への口腔健康管理が行える。
時 期	前期・後期		5. 口腔を体の中の一部としてとらえ、健康を支援する視点をもつ。
担当講師 実務経験	増田洋子(歯科衛生士) 富永高生(歯科医師) それぞれの職種で実務経験あり		【授業計画】
成績評価	科目終了後の一斉実技試験(30) 授業内での実技試験(40) 確認テスト(15)・提出物(15)		第1回 歯科衛生アセスメントとしての情報収集・情報処理
教科書 参考資料	歯科予防処置論・歯科保健指導論	第2回 歯科衛生アセスメントとしての情報収集・情報処理	
			第3回 歯科衛生介入としての歯科保健指導「口腔衛生」
			第4回 歯科衛生介入としての歯科保健指導「口腔衛生」
			第5回 歯科衛生介入としての歯科保健指導「口腔機能」
			第6回 歯科衛生介入としての歯科保健指導「口腔機能」
			第7回 歯科衛生介入としての歯科保健指導「義歯のケア」
			第8回 歯科衛生介入としての歯科保健指導「歯磨剤の活用」



第9回 歯科衛生介入としての歯科保健指導「生活習慣」

第10回 口の健康から呼吸・体の健康につなげる「あいうべ体操」(富永)

分野	専門分野	授 業 概 要	【一般目標】
科目名	40. 歯科診療補助論Ⅰ (講義)		歯科診療における医療安全や感染予防、歯科診療における基礎知識を理解し、基本的な操作法や技術を習得する。
単 位	1		【到達目標】
時間数	15		1. 歯科診療補助の業務内容と法的解釈を説明できる。
授業回数	180分×5回		2. 医療安全の概念とその対策を説明できる。
授業形態	講義		3. スタンダードプレコーションを具体的に説明できる。
開講年度	2023年度		4. 手指消毒やグローブの着脱が実施できる。
時 期	前期		5. 滅菌と消毒の定義が説明できる。
担当講師 実務経験	原 幸 歯科衛生士としての臨床経験がある教員が、歯科診療の概要と基本的な歯科診療補助の知識と技能を指導しながら、臨床へのイメージを高める科目である。		6. 医療廃棄物の分類と分別を説明できる。
成績評価	科目終了時の学科試験 (100)		7. 歯科診療室の環境・設備について説明できる。
教科書 参考資料	歯科診療補助論 (医歯薬出版) 歯科材料(医歯薬出版) 歯科機器(医歯薬出版)	【授業計画】 第1回 歯科診療補助の概念、医療安全と感染予防① 第2回 医療安全と感染予防② 第3回 医療安全と感染予防③ 第4回 歯科診療における基礎知識① 第5回 歯科診療における基礎知識②	

分野	専門分野	授 業 概 要	【一般目標】
科目名	40. 歯科診療補助論Ⅰ (演習)		歯科診療時に使用する歯科材料、機械器具の基礎知識及び取り扱いを理解し、基本的な操作法や技術を習得する。
単 位	2		【到達目標】
時間数	60		1. 共同動作の概念を述べることができる。
授業回数	180分×20回		2. 共同動作を実施できる。
授業形態	演習		3. 歯科薬品や材料の適切な管理を説明できる。
開講年度	2023年度		4. ラバーダム防湿の目的と器具の用途について説明できる。
時 期	前期・後期		5. 印象材の特徴・種類・用途を説明できる。
担当講師 実務経験	原 幸 歯科衛生士としての臨床経験がある教員が、歯科診療の概要と基本的な歯科診療補助の知識と技能を指導しながら、臨床へのイメージを高める科目である。		6. アルジネート印象材の練和と管理を実施できる。
成績評価	実技試験 (30) 項目ごとの実技評価 (40) 確認テスト (15) その他 (15)		7. 歯科用石膏の特徴・種類・用途を説明できる。
教科書 参考資料	歯科診療補助論 (医歯薬出版) 歯科材料(医歯薬出版) 歯科機器(医歯薬出版)	8. 歯科用石膏の練和と管理を実施できる。 9. 合着材や接着材の特徴・種類・用途を説明できる。 10. 合着材や接着材の練和と管理を実施できる。 11. 仮封材や仮着材の特徴・種類・用途を説明できる。 12. 仮封材や仮着材の練和と管理を実施できる。 13. ワックスの特徴・種類・用途を説明できる。 14. 口腔内写真撮影を実施できる。	
		【授業計画】 ※★は白衣着用 第1回 共同動作の概念 第2回 ★共同動作の演習 第3回 ラバーダム防湿の基礎知識と手順 第4回 ★模型上でのラバーダム防湿 第5回 薬品歯科材料の管理、綿球等作製 第6回 印象材・歯科用石膏の取り扱い 第7回 ★概形印象採得と普通石膏の注入① 第8回 ★概形印象採得と普通石膏の注入② 第9回 ★概形印象採得と普通石膏の注入③ 第10回 合着材・接着材の取り扱い① 第11回 ★合着材・接着材の取り扱い② 第12回 ★合着材・接着材の取り扱い③ 第13回 成形歯冠修復材の取り扱い① 第14回 ★成形歯冠修復材の取り扱い② 第15回 仮封材・仮着材の取り扱い① 第16回 ★仮封材・仮着材の取り扱い② 第17回 ワックスの取り扱い 第18回 口腔内カメラの取り扱い 第19回 ★口腔内写真撮影 (正面観) 第20回 まとめ	

分野	専門分野	授 業 概 要	【一般目標】
科目名	41. 歯科診療補助論Ⅱ (講義)		歯科衛生士として病態の判断・指導ができるようになるために、臨床検査の基本的知識と病気をもつ患者に対応するうえで必要な態度と技能を修得する。
単 位	1		【到達目標】
時間数	15		1. 各種生体検査を概説できる。 2. 臨床検査データを理解し、病態の判断ができる。
授業回数	180分×5回		【授業計画】
授業形態	講義		第1回 1章序説臨床検査とは・体温、血圧、心電図 第2回 肺機能、筋電図、脳波、血中酸素濃度、尿検査、血液型 第3回 生化学検査項目、検査項目の意義 第4回 感染症検査、細菌検査、ウイルス検査、免疫・血清検査 第5回 口腔領域の検査(摂食嚥下、糖尿病)・主な疾患・病態別検査値とらえ方
開講年度	2023年度		
時 期	前期		
担当講師 実務経験	岡本充栄  臨床検査技師として実務経験あり		
成績評価	科目終了時の実技試験(100)		
教科書 参考資料	臨床検査		

分野	専門分野	授 業 概 要	【一般目標】
科目名	41. 歯科診療補助論Ⅱ (演習)		1学年で学んだ基本的な知識や技術を応用できるようになるために、より臨床的な講義や演習を行い知識や技術を修得する。
単 位	2		【到達目標】
時間数	60		1. 治療の流れと目的を理解できる。 2. 治療の手順に沿った器材を準備することができる。 3. 治療内容に応じた補助ができる。 4. 歯科材料の正しい取り扱いができる。 5. 寒天・アルジネート連合印象採得ができる。
授業回数	180分×20回		6. 既製冠を用いたテンポラリークラウンを作製できる。 7. 感染対策について説明できる。 8. 採血法について説明できる。 9. 簡単な保険請求作業ができる。
授業形態	演習		【授業計画】 ※★は白衣着用
開講年度	2023年度		第1回 1年次の復習/口腔内診査 第2回 保存修復時の診療補助 第3回 ★精密印象採得①左下6 In 第4回 歯内療法時の診療補助 第5回 歯周外科治療の診療補助/補綴治療時の診療補助 第6回 補綴治療時の診療補助 第7回 ★精密印象採得②右下6 支台装置 第8回 ★精密印象採得③右上7 FMC 第9回 ★テンポラリークラウンの作製① 第10回 ★テンポラリークラウンの作製②
時 期	前期・後期		第11回 口腔外科治療時の診療補助 第12回 歯科麻酔時の診療補助 第13回 矯正治療時の診療補助 第14回 小児歯科治療時の診療補助 第15回 ★概形印象採得 第16回 感染対策①(廣島佑香) 第17回 感染対策②(廣島佑香) 第18回 ★採血法演習(藤原茂樹) 第19回 保険請求事務 第20回 まとめ
担当講師 実務経験	原 幸(歯科衛生士) 廣島佑香(歯科医師) 藤原茂樹(歯科医師)  各人記載の資格において実務経験あり		
成績評価	実技試験(30) 項目ごとの実技評価(40) 確認テスト(15) その他(レポート・課題)(15)		
教科書 参考資料	歯科診療補助論(医歯薬出版) 歯科材料(医歯薬出版) 歯科機器(医歯薬出版)		

分野	専門分野	授 業 概 要	【一般目標】
科目名	42. 歯科診療補助論Ⅲ (講義)		歯科衛生士として臨床現場で即戦力となるために、3年間の復習を行い、診療の流れに沿った補助に関する知識を習得する
単 位	1		【到達目標】
時間数	15		1. 診療の手順を説明できる。
授業回数	180分×5回		2. 診療内容に応じた器材を説明できる。
授業形態	講義		3. 診療補助の注意点を列挙できる。
開講年度	2023年度		4. 器具器材の取り扱い方法と取り扱い時の注意点を説明できる。
時 期	後期		【授業計画】
担当講師 実務経験	原 幸 歯科衛生士としての実務経験あり		第1回 歯科診療補助論まとめ (概論・歯科材料)
成績評価	講義終了時の学科試験 (100点)		第2回 歯科診療補助論まとめ (保存修復・歯内療法)
教科書 参考資料	歯科診療補助論 (医歯薬出版) 歯科材料 (医歯薬出版) 歯科機器 (医歯薬出版) ※その他必要に応じて連絡する	第3回 歯科診療補助論まとめ (補綴・口腔外科・歯科麻酔学)	
		第4回 歯科診療補助論まとめ (矯正・小児)	
		第5回 歯科診療補助論まとめ (高齢者・障害者)	

分野	専門分野	授 業 概 要	【一般目標】
科目名	42. 歯科診療補助論Ⅲ (演習)		さまざまなライフステージや全身疾患を有する患者の歯科医療に対応するために、専門的な歯科医療の補助に関する基礎的知識、技術および態度を習得する
単 位	1		【到達目標】
時間数	30		1. 主な全身疾患の特徴と診療での注意点を説明できる
授業回数	180分×20回		2. 周術期における口腔機能管理の概要を述べることができる
授業形態	演習		3. 歯科訪問診療の概要を述べることができる
開講年度	2023年度		4. 治療に応じた歯科診療補助を実施できる
時 期	前期・後期		5. 口腔機能管理の概要を説明できる
担当講師 実務経験	原 幸 (歯科衛生士) 井内孝次 (歯科技工士) 渡邊正知 (歯科医師) 藤中恵子 (歯科医師) 各人記載の資格において実務経験あり		【授業計画】 ※★は白衣着用
成績評価	実技テスト (30) 項目ごとの実技評価 (40) 確認テスト (15) その他 (レポート・課題等) (15)		第1回 隔壁法・歯肉排除法・歯冠分離法 第11回 全身疾患を有する患者への対応①
教科書 参考資料	歯科診療補助論 (医歯薬出版) 歯科材料 (医歯薬出版) 歯科機器 (医歯薬出版) ※その他必要に応じて連絡する	第2回 止血処置、歯周バックの取り扱い 第12回 全身疾患を有する患者への対応②	
		第3回 ★全顎・連合印象採得と石膏注入① 第13回 全身疾患を有する患者への対応③	
		第4回 ★全顎・連合印象採得と石膏注入② 第14回 全身疾患を有する患者への対応④	
		第5回 ★全顎・連合印象採得と石膏注入③ 第15回 周術期における歯科診療の補助	
		第6回 ★スタディモデル作製 (井内孝次) 第16回 ★歯科訪問診療における対応 (藤中恵子)	
		第7回 ★TeC作製 (印象体を利用する方法) ① 第17回 口腔機能管理	
		第8回 ★TeC作製 (印象体を利用する方法) ② 第18回 臨床検査・口腔機能低下症の検査	
		第9回 ★TeC作製 (直接法) ① 第19回 普通救命講習Ⅰ	
		第10回 ★TeC作製 (直接法) ② 第20回 小児へのメンテナンス業務 (渡邊正知)	

分野	専門分野	授 業 概 要	<b>【一般目標】</b> 歯科臨床における歯科衛生士の役割を理解するため、歯科診療の臨床現場を見学し、どのような業務が行われているのかを体験をととして学ぶ。  <b>【到達目標】</b> 1) 歯科衛生士の日常業務を述べる 2) 歯科診療の内容を知る 3) 患者さんはどのように治療を受けているかを知る 4) 各スタッフがそれぞれどんな役割を果たしているかを理解する。 5) スタッフ患者さんとコミュニケーションをとることができる。  <b>【授業計画】</b> 歯科診療所での実習
科目名	<b>43. 臨地実習 I</b>		
単 位	1		
時間数	45		
授業回数	6時間×8日間		
授業形態	実習		
開講年度	2023年度		
時 期	後期		
担当講師 実務経験	川人貴子 伊槻有希菜 他		
成績評価	実習記録の評価(70) 評価表(20) 出席点(10)		
教科書 参考資料	臨地実習実施要項 臨床実習ハンドブック 臨地実習ハンドブック		

分野	専門分野	授 業 概 要	【一般目標】 修得した基本的な知識及び技能を、臨床実習現場でさらに高めるとともに、患者さんやさまざまな歯科医療従事者と深くかかわりをもつことで、歯科衛生士としての自覚を高める。
科目名	44. 臨地実習 II		【到達目標】 1. 歯科診療が臨床の場でどのように展開されているのかを理解する。 2. 知識の裏づけのもとに原則、基本をふまえて実習を行う。 3. 歯科医療を支える他職種の業務を理解しその中の歯科衛生士の役割を認識する。 4. 患者を理解し患者の変化を察知できる「観察する目」と「感じる心」を深める。
単 位	10		【一般目標】 職業人としての責任とマナーを土台として専門領域に関する知識の修得と、技術の修練を積み重ね、将来の現場に応用展開できるような能力を養う。
時間数	450		【到達目標】 1. 基礎から応用にステップをふんだ上で最も適切な工夫応用の効いた手技ができる。 2. 知識の裏づけのもとに原則、基本をふまえて実習を行う。 3. 患者のニーズを理解し歯科医師と患者の相互理解の仲介者となれるよう努力する。 4. 歯科診療時のチームワークを緊密にし歯科衛生士として自分の役割を責任をもって果たす。
授業回数			【授業計画】 前期 歯科診療所での実習 後期 徳島大学病院での実習 臨地 高齢者・障害者臨地実習/小学校歯科保健指導/地域歯科保健事業
授業形態	実習		
開講年度	2023年度		
時 期	前期・後期		
担当講師 実務経験	川人貴子 伊槻有希菜 他		
成績評価	実習記録 評価表 出席状況		
教科書 参考資料	臨地実習要項 臨床実習ハンドブック 臨地実習ハンドブック		

分野	専門分野	授 業 概 要	<p>【一般目標】</p> <p>将来の職場で活躍できる力を身につけるために、自ら高い目標を掲げ、自律精神を養い、専門的に歯科衛生業務を学ぶ。</p> <p>【到達目標】</p> <p>①専門性を高めたい分野を明確にする。  ②それぞれの分野での専門的な歯科衛生業務を学ぶ。  ③臨地実習にかかわるスタッフやさまざまな職種と連携を図る。</p> <p>【授業計画】</p> <p>前期 歯科診療所での実習  後期 歯科診療所での実習</p>
科目名	45. 臨地実習Ⅲ		
単 位	10		
時 間 数	450		
授業回数	7時間×65日		
授業形態	実習		
開講年度	2023年度		
時 期	前期・後期		
担当講師 実務経験	川人貴子 伊槻有希菜 他		
成績評価	実習記録 評価表 出席状況		
教科書 参考資料	臨地実習要項 臨床実習ハンドブック 臨地実習ハンドブック		

分野	選択分野	授 業 概 要	【一般目標】 臨床実習の学びを充実させるために、実習の開始前・実習中・終了後の学び方を学習し、主体性を持って学ぶことができる能力を修得する。
科目名	47. 臨地実習学習法A		【到達目標】 1. オリエンテーションを理解できる。 2. 臨地実習施設での学び方を学修する。 3. 実習に必要な事前学習を行う。 4. 臨地実習で学んだことを振り返る。
単 位	1		【授業計画】 第1回 オリエンテーション・実習生としての心構え、望ましい実習態度 第2回 実習の心得、医療安全・事故発生時の対応 第3回 事前学習① 第4回 事前学習② 第5回 事前学習③ 第6回 前期臨地実習の振り返り 第7回 後期臨地実習オリエンテーション・事前学習④ 第8回 事前学習⑤ 第9回 事前学習⑥ 第10回 後期臨地実習の振り返り
時間数	30		
授業回数	180分×10回		
授業形態	演習		
開講年度	2023年度		
時 期	前期・後期		
担当講師 実務経験	原 幸 歯科衛生士としての実務経験あり		
成績評価	事前学習レポート (60) 実習報告レポート (20) 実習 (20)		
教科書 参考資料	臨地実習ハンドブック (クインテッセンス出版) 臨床実習ハンドブック (クインテッセンス出版) デンタルスタッフのための歯科保険診療ハンドブック		

分野	選択分野	授 業 概 要	【一般目標】 専門的な歯科衛生士業務を修得するために、選択したコースの実習内容を計画し、その学びを充実させることを目的とする。実習の開始前、実習中、終了後の学び方を学習し、臨床・臨地実習に対して主体性を持つ。
科目名	48. 臨地実習学習法B		【到達目標】 1. 実習の目的に合わせて実習計画を立てることができる。 2. 実習に必要な資料を事前に調べまとめることができる。 3. 実習の学びをパワーポイントにまとめ、発表できる。 4. 自己評価表を使い、実習の振り返りができる。
単 位	1		【授業計画】 第1回 オリエンテーション 第2回 実習準備 第3回 実習記録の書き方 第4回 事前学習 第5回 振り返り 第6回 オリエンテーション 第7回 実習準備 第8回 事前学習 第9回 まとめ 第10回 自己評価
時間数	30		
授業回数	180分×10回		
授業形態	演習		
開講年度	2022年度		
時 期	前期		
担当講師 実務経験	増田洋子 歯科衛生士としての実務経験あり		
成績評価	提出物の評価 報告会での発表		
教科書 参考資料	プリントを配布します 臨床実習ハンドブック 臨地実習ハンドブック		



分野	選択分野	授 業 概 要	【一般目標】
科目名	<b>49. 専門分野学習法A</b>		専門分野である歯科衛生学に関心を持ち、効果的、積極的に学習する方法を身に付ける。
単 位	1		【到達目標】
時間数	30		1. 課題について教科書等を活用して調べる
授業回数	180分×10回		2. 調べた内容の要点をまとめる
授業形態	演習		3. 問題集を活用し、応用問題に取り組む
開講年度	2023年度		4. 学科試験合格のための勉強法をつかむ
時 期	前期・後期		5. 国家試験に合格するための学習法を身に付ける
担当講師 実務経験	増田洋子 歯科衛生士としての実務経験あり		【授業計画】
成績評価	提出物(100)		第1回 専門分野の学習概要① 第2回 学習の要点、調べ方、まとめ方 第3回 国家試験勉強法 第4回 国家試験勉強法 第5回 国家試験勉強法 第6回 学習のまとめ 第7回 学科試験対策 第8回 学科試験対策 第9回 学科試験対策 第10回 学科試験対策
教科書 参考資料	解剖学・生理学・組織発生学 (医歯薬出版) 問題集、小辞典等		

分野	選択分野	授 業 概 要	【一般目標】
科目名	<b>50. 専門分野学習法B</b>		これまでの基礎知識を補いつつ、臨床で学んだこととを結びつけ、知識を確かなものとする。資格試験にも対応できる自分に合った学習方法を確立する。
単 位	1		【到達目標】
時間数	30		1. 自分の取り組むべき課題を見つける。
授業回数	180分×10回		2. 教科書から答えを見つけ、要点をまとめる。
授業形態	演習		3. 繰り返しの学習で、知識が身についたかどうかを確かめる。
開講年度	2023年度		4. 学科試験合格のための自分に合った勉強法を見つける。
時 期	前期・後期		【授業計画】
担当講師 実務経験	増田洋子 歯科衛生士としての実務経験あり		第1回 オリエンテーション 第2回 学習計画 第3回 学習の要点、調べ方、まとめ方 第4回 学習の要点、調べ方、まとめ方 第5回 学習の要点、調べ方、まとめ方 第6回 学習の要点、調べ方、まとめ方 第7回 国家試験勉強法 第8回 国家試験勉強法 第9回 国家試験勉強法 第10回 国家試験勉強法
成績評価	提出物・取り組み		
教科書 参考資料	歯科予防処置論・歯科保健指導論		

分野	選択分野	授 業 概 要	【一般目標】
科目名	51. ホスピタリティ		医療の場では医療者も患者も尊厳をもって病気を治すために共に歩む関係である。互いを認め合い、より良い人間関係を築くために、社会人としての心身を整え、おもてなしの心と接遇、リラクゼーションの技術を学ぶ。
単 位	1		【到達目標】
時間数	30		1. 適切な敬語が使える。
授業回数	180分×20回		2. ビジネスマナーを身に付ける。
授業形態	演習		3. 教えを理解したうえでヨガ、ピラティスを体験する。
開講年度	2023年度		4. 患者が癒される診療室の環境を整えることができる。
時 期	前期		5. 患者が癒されるリラクゼーションの技術を身に付ける。
担当講師 実務経験	森本みどり（キャリアコンサルタント） 藤中恵子（歯科医師） 丸山葉鼓（フワデザイン講師） 小松原富美（歯科医師）  それぞれの職種で実務経験あり		【授業計画】
成績評価	授業への参加・出席状況・ 課題提出・試験・態度・ 作品の作成		第1回 就職活動支援（履歴書の書き方・面接の受け方）（森本） 第2回 就職活動支援（模擬面接）（森本） 第3回 患者対応時のホスピタリティ（森本） 第4回 電話対応時のホスピタリティ（森本） 第5回 ヨガの歴史と教え（八支則）・呼吸法と瞑想（チェア）（藤中） 第6回 ピラティスの歴史とコアの解剖学・ピラティスの実践（藤中） 第7回 心地よい診療室づくり（アロマセラピー）（丸山） 第8回 心地よい診療室づくり（季節に合わせたディスプレイ）（丸山） 第9回 リラクゼーション（小松原） 第10回 リラクゼーション（小松原）
教科書 参考資料	プリントを配布します ヨガマットまたはバスタオル		

分野	選択分野	授 業 概 要	【一般目標】
科目名	52. 訪問介護技術		要介護者への歯科衛生業務を安全に行うために、介護や社会福祉サービスの知識や技術を修得する。
単 位	3		【到達目標】
時間数	130		1. 介護を必要とする要介護者の説明ができる。
授業回数	一		2. 介護に関するボディメカニクスが説明できる。
授業形態	講義		3. 整容の介護ができる。
開講年度	2023年度		4. 移動・移乗の介護ができる。
時 期	後期		5. 食事の介護ができる。
担当講師 実務経験	中川弘他  この科目は各単元実務経験のある教員によるオムニバス形式で構成される。介護員養成研修事業所で徳島県知事に認可されており、実務経験の詳細は学校ホームページに掲載公表している。		6. 入浴清潔保持の介護ができる。 7. 排泄の介助ができる。
成績評価	学科試験(100) 合格者には「終了証明書」を授与		【授業計画】  研修開始前にオリエンテーションを開催し、資料を配布する。 学校ホームページに「介護職員初任者研修」について掲載公表しており、その内容は以下のとおりである。 (1) 介護職員初任者研修について (2) 講義予定表 (3) 講師一覧
教科書 参考資料	介護職員初任者研修テキスト (ミネルヴァ書房)		